

この「人」に聞く

八朔ゆかりの会

会長

田中 康貴氏



ロマンあふれる八朔発祥の地因島
八朔の父・田中清兵衛と八朔物語

八朔はどんな果物…

八朔は甘酸っぱく、あつさりとした甘み特徴で、さわやかな味の柑橘です。尾道市の因島でさかん生産され、JA尾道の「因島のはっさくゼリー」や菓子店の「はっさく大福」が人気商品となっています。12月から収穫が始まり、予措（よそ）を行います。予措とは柑橘の品質や鮮度を保つために果皮を乾かす措置で、八朔の場合は1カ月ほど寝かせます。そのため本格的な出荷は翌年2月1日からとなります。

八朔の名の由来は…

八朔の発見は1860年でしたが、しばらくは名前らしい名前もなく、地元で愛好される程度の栽培



「八朔発祥之地」記念碑

八朔の歴史は…

会の監事でもある村上アーカイブスの村上宏治さんが詳しく取材し、記事を会のホームページに掲載してくれています。

八朔は村上海賊と大いに関係があります。その昔、村上海賊は中国、フィリピン、ジャワ島のジャカルタなど東南アジアに交易のために出かけていました。西洋の海賊は悪いイメージがありますが、日本の海賊は瀬戸内海では通行料を取って安全航行を保障する役割のほか海外に出て交易を行っていました。船で海外に出るのは長旅です。多くの船員はビタミン不足で病気になるため、それを防ぐために柑橘をたくさん積んで出かけ、帰りは先方の柑橘をどつさり積んで帰りました。持ち帰った柑橘が村上海賊の居城があった青影山の麓に捨てられ、いつしか自生するようになり、後の調査で60種類もの雑

柑があったということです。地元の人はそれらの雑柑を「ジャカタ」と呼んでいたと言いますから、ジャカルタ由来の柑橘という意味だったかも知れません。その中の1種が八朔ということになります。

八朔の両親は…

つい最近まで八朔の両親は何であるか不明でした。しかし9年ほど前、遺伝子のゲノム解析で判明しました。種子親



ザボン 八朔 九年母

(母) がザボン、花粉親(父) が九年母。古文書によると村上海賊が最初に柑橘を持ち帰ったのは1500年

代でその中に九年母があり、ザボンも九年母も東南アジア由来。そのため八朔は因島がルーツという確証となりました。



田中 康貴 (たなか やすたか)

1945年3月尾道市因島田熊町生まれ。尾道北高校、愛媛大学農学部農芸化学科卒業後、三共(株)農業部入社、72年同社を退社して大信産業(株)入社。89年代表取締役社長就任、2016年社長を長男公浩氏に譲り会長就任。22年10月設立の「八朔ゆかりの会」会長就任。00年(一社)日本植物防疫協会会長功労者表彰受賞、17年旭日双光章受賞。

八朔ゆかりの会

事務局:JA広島果実連(株)業務部指導課
東広島市河内町入野11631-13
TEL:082-420-7150
URL:https://hassaku-archives.com

大信産業株式会社

所在地:尾道市美ノ郷町本郷1-180
TEL:0848-38-2612

設立:1954年4月1日

資本金:5,000万円

業務内容:農業・肥料・土壌改良剤・農業用資材などの販売、農業用ドローン教習・販売、自動かん水システムの設計・施工ほか。大信ホールディングス(株)の傘下に同社のほか、(株)ヴェルデ(尾道市)、(株)トラストワン(岡山市)、(株)鳥取農援(倉吉市)、(株)ネオアグロ(加古川市)、(株)フィレオ(尾道市)、総合園材(株)(福岡市)があり、7社合計で売上高160億円規模のグループを構成。

こうした経緯から浄土寺には「八朔発祥之地」と標した石碑と並び清兵衛さんの銅像が建ち「八朔の父」と称されています。清兵衛さんの想い、ロマンあふれる八朔の歴史を踏まえ、会の活動を通じて八朔関連産業の発展、地域活性化を願っています。

田中清兵衛とは…

因島田中家本家8代目・田中清兵衛さんは西条農学校の一期生で、因島で柑橘の指導者になりました。まだミカン生産が主流で八朔は少なかった頃です。明治17(1884)年の頃には北米・中国に田熊の柑橘が輸出されていましたが、輸入された柑橘に「かいよう病」が見つかり、アメリカの柑橘学の権威スウィングル博士を中心にした調査団が田熊にも訪れました。「かいよう病」の原因は田熊産ではなかったため輸出は続けられました。もう一つよかったのは、そのときスウィングル博士が八朔を絶賛したことでした。これを機に清兵衛さんによる技術指導もあつて八朔生産が一気に普及しました。さらに清兵衛さんは販路を広げるため、出荷組合も作り、関西方面に止まっていた販路を関東に広げるため、東京の果物販売の一流店「千足屋」に目を付けます。昭和4〜5年千足屋で八朔が飛ぶよう売れたといえます。千足屋の商売上手に清兵衛



田中清兵衛君之像

さんも驚いたことを記しています。千足屋は店先で「広島名産ハッサクオレンヂ」と宣伝、店舗2階のコーヒー客に2房を宣伝用試食として出したところ、多くのお客は帰りに買って帰ったといえます。

清兵衛さんは指導熱心で西条農学校の実習生徒を何十人も手弁当で受け入れ、大正初期にイセリアカイガラムシが大発生すると、静岡農業試験場からカイガラムシを捕食するベタリアントムムシを取り寄せ、屋敷内のガラス温室で増殖させ、多いときには3万頭を農家に無償で配り、ミカンの木を伐採する被害を食い止めたと文献に残っています。

人と企業、求職と採用をつなぐ—

びんご経済レポート

2025
12|1
No.2293
(本体価格 546円)
600yen



八朔ゆかりの会
会長

田中 康貴氏

(大信産業株会長)

この【人】に聞く

ロマンあふれる八朔発祥の地因島 八朔の父・田中清兵衛と八朔物語

PICK UP

尾道駅前尾道福屋跡に女性専用フィットネス「カーブス尾道」
キャストが産学連携で内視鏡処置具の補助具を発売
八天堂ファームが規格外ぶどう使いFOOD SHIFT 優秀賞
岡本製作所・広島女学院大学カレー2種を共同開発



<https://keizai-report.com/web/>